

2月14日の京都府南部の地震について

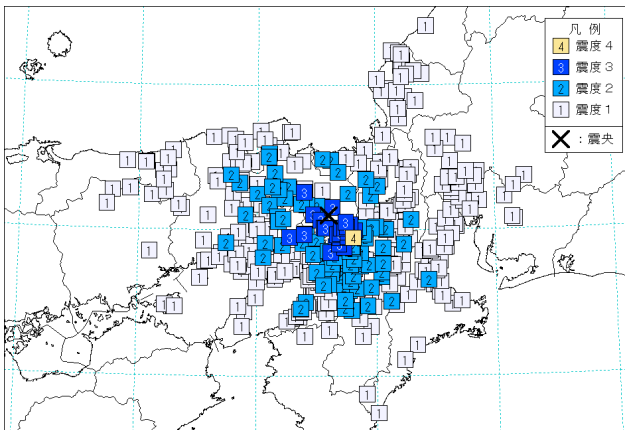


図1 観測点震度分布図 (×は震央)

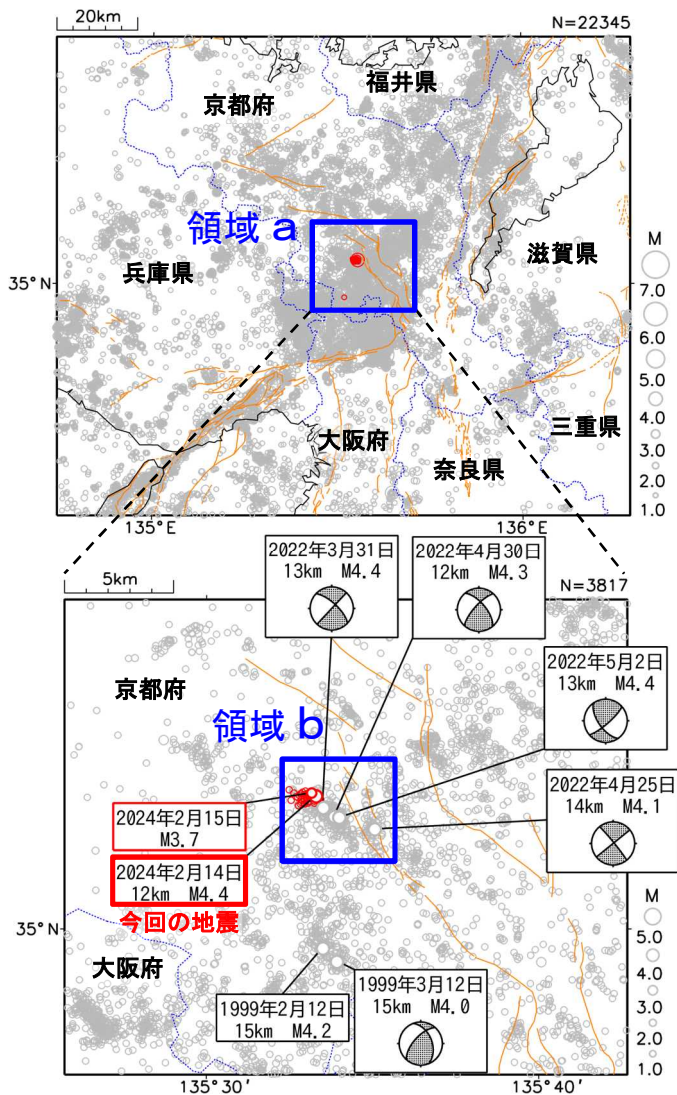


図2 震央分布図

上図：広域、下図：今回の地震の震央近傍 (1997年10月1日～2024年2月15日11時、深さ0～20km、 $M \geq 1.0$)

- ※2024年2月14日以降の地震を赤色で表示
- ※下図中の吹き出しは、今回の地震活動及び1999年と2022年の地震活動の主な地震に付加
- ※橙色の実線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

14日15時29分、京都府南部の地震 (深さ12km、 $M4.4$) により、京都府京都市伏見区で震度4を観測したほか、東海・北陸・近畿・中国・四国地方で震度3～1を観測しました (図1)。この地震の震央近傍の深さ約10kmでは15日10時08分頃にも $M3.7$ (速報値) の地震 (最大震度3) が発生しました (図2)。これらの地震は地殻内で発生しました。また、これらの地震の発生後、15日15時までに震源付近で震度1以上の揺れを観測する地震は発生していません。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (図2の領域a) では、 $M4$ 程度の地震が時々発生しています (図3)。更に、今回の地震の震央近傍 (図2の領域b) では、2022年3月末から6月にかけて地震活動が局所的に活発となり、今回の地震と同規模の $M4$ 程度の地震が4回発生し、震度1以上を観測する地震も16回発生しました (図2、図4)。また、この領域bの南側でも、1ヶ月ほどの期間内に $M4$ 程度の地震が複数回発生するような活動が、1999年2月から3月にかけてみられました (図2、図3)。

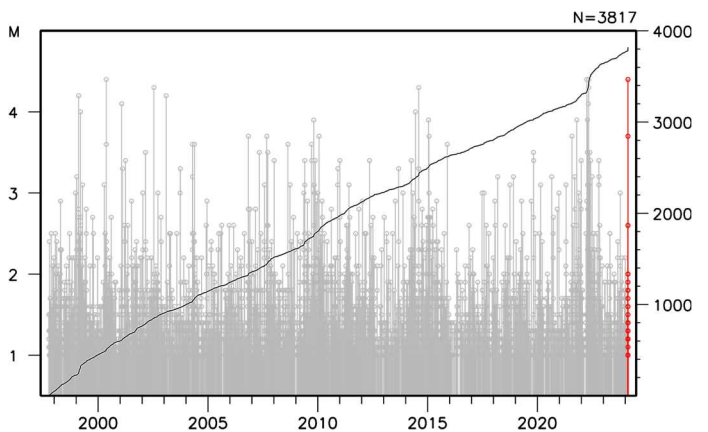


図3 図2の領域a内の規模別地震活動経過図及び回数積算図

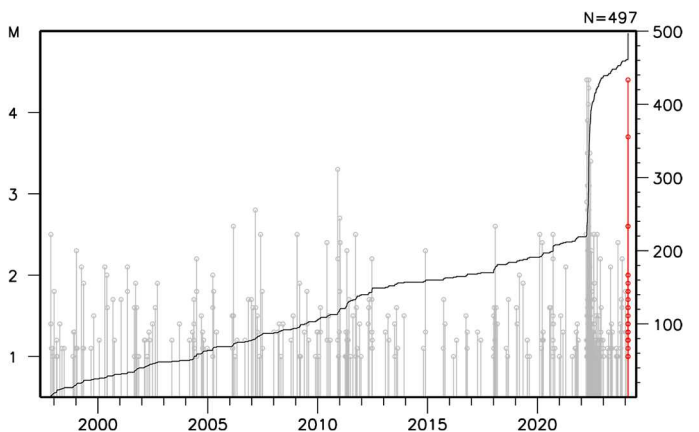


図4 図2の領域b内の規模別地震活動経過図及び回数積算図